



会社理念

顧客のニーズに応え、会社の安定化をはかり、従業員の生活を守り、技術力で社会に貢献する。

▶ MESSAGE 社長メッセージ

業界トップレベルの技術力で信頼を築き、未来にチャレンジ。

当社は、1953(昭和28)年に創立し、化学プラント工事、配管、設備のメンテナンスなどを、長年にわたり一貫して主たる業務として携わり今日に至っております。

昨今、激動するグローバル経済にいかに対応し、適合することが問われる時代に入ってきています。私たちは“S・S・Q”を合言葉に、来たるべき将来へ向けて時代の変化を見据え、高水準の技術力と豊富なノウハウを駆使し、顧客に信頼される関係を構築し、さらに盤石な体制を整える努力を続けていく所存です。

会社にとって一番大事なのは、何と言っても人材です。長期的展望に立ち視野を大きく持ち、世界に向けて果敢に挑戦し、そして社会に貢献するために、全社員が一丸となってチャレンジできる組織づくりを目指します。何卒よろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 神山 興三



<座右の銘>

桃李(とうり)もの言わざれども
下(した)自(おのずか)ら蹊(みち)を成す
「史記」

桃やすももは何も言わないが、花や実を慕って人が多く集まるので、その下には自然に道ができます。徳望のある人のもとへは人が自然に集まることのたとえです。会社も同じで、会社の徳というものがあればおのずから仕事も人も集まってきます。こうした会社が理想であると考えています。

安全衛生管理方針

社長方針

当社は、安全は全てに優先することを念頭におき、お客様に信頼され満足度を高める工事（安全・品質・納期・コスト）を提供する。

管理方針

監督者が率先して安全行動に徹し従業員が常に緊張感を持ち、安全第一を実践すること。

実施事項

- 決められたルールを確実に守る
- 必要な資格取得と必要な知識の教育
- 危険予知活動のレベルアップ
- 施工要領書のレベルアップと共通ファイルの最新版管理
- 交通事故ゼロの推進（業務、通勤、私用）
- 健康管理の推進（毎日の体調チェック）

沿革

1953年 昭和28年	3月	鐘淵化学工業(株)大阪工場専属請負工事者として創業。	1972年 昭和47年	6月	神山興三 監査役に就任。
1958年 昭和33年	7月	尼崎工業株式会社を設立。本店を尼崎市元浜町に置く。西谷四郎 代表取締役役に就任。資本金50万円。		7月	資本金500万円に増資。
1960年 昭和35年	5月	資本金100万円に増資。	1978年 昭和53年	1月	資本金1,000万円に増資。
1962年 昭和37年	2月	鐘淵化学工業(株)高砂工業所と取引開始。所内に出張所開設。	1989年 平成元年	3月	瓦本好秀 代表取締役に就任。
1963年 昭和38年	3月	資本金200万円に増資。	1992年 平成4年	6月	海谷好雄 取締役役に就任。 瓦本幸子 取締役役に就任。
1964年 昭和39年	7月	本店を高砂市船頭町に移す。瓦本武夫 代表取締役に就任。	1996年 平成8年	1月	神山興三 代表取締役に就任。 瓦本由紀江 監査役に就任。
1968年 昭和43年	1月	高砂市伊保町で土地を取得。	2001年 平成13年	1月	海谷好雄 専務取締役に就任。
	5月	社屋が完成。		2月	瓦本久子 取締役に就任。
1969年 昭和44年	11月	高砂市伊保町に本店を移す。	2002年 平成14年	1月	神山洋子 取締役に就任。
			2007年 平成19年	1月	中原正二 取締役に就任。

福利厚生

当社は福利厚生にも積極的に取り組んでいます。研修旅行などを実施し、社内の活性化や業務環境の向上に努めています。



1996年(平成8年)
加賀温泉郷



2003年(平成15年)
出雲大社